



用語編-3

下水道法

下水道法は、流域別下水道整備総合計画の策定に関する事項、ならびに下水道の設置や管理の基準等を定めて下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質を保全することを目的としています。

「下水」とは、生活あるいは事業に起因し、付随する廃水または雨水を指します。

「汚水」とは、下水のうち雨水以外のものを指します。

「公共下水道」とは、主として市街地における下水を排除し、または処理するために、地方公共団体が管理する終末処理場を持つ下水道です。

「流域下水道」とは、複数の市町村の下水を受けて処理し排出するために地方公共団体が管理する終末処理場を持つ下水道です。公共・流域下水道には、下水を全て流入する合流式と、汚水を流入し雨水は別途幹線放流の分流式があります。

公共下水道に、デスポーザー生ゴミ排水処理水を排出するシステムは、この下水道法の適用を受けて「デスポーザー生ゴミ排水処理システム適合評価基準(案)」による性能評価試験を合格した評定品であり、水質維持のため維持管理が義務付けられています。

公共下水道、流入水の水質基準

項目	記号	下水道法施行令	上乘せ基準	デスポ処理槽排水基準
生物化学的酸素要求量	BOD	600mg/L未満	300mg/L未満	300mg/L未満
浮遊物質	SS	600mg/L未満	300mg/L未満	300mg/L未満
ノルマルヘキサン抽出物質	鉱油	5mg/L 以下	-	-
	動植物油	30mg/L 以下	-	30mg/L 以下
窒素	N	240mg/L未満	120mg/L未満	-
	P	32mg/L 未満	16mg/L 未満	-
水素イオン濃度	pH	5を超え9未満	5.8以上8.6以下	5.8以上8.6以下
温度	°C	45°C未満	-	-
よう素消費量	I	220mg/L未満	-	-

※上乘せ基準は各都道府県(市町村)により定められています。

生物化学的酸素要求量 : BOD

汚水中の有機物が好気性微生物の生物化学的反応によって分解される時に消費される酸素量のことで、この数値が大きいほど、水が汚濁していることを意味しています。

浮遊物質 : SS

浮遊物質(水中を浮遊している物質)または懸濁物質(濁りの原因物質)という。水を濁している不溶性の物質で、この値が高いほど水の濁が高いことになる。BOD、CODと深い関連性があり汚泥生成量にも関係する。

ノルマルヘキサン抽出物質 : n-Hex

ノルマルヘキサンは一般的に水中の油脂分を表す指標です。具体的には鉱油類、動植物油脂類や油分の他にも界面活性剤や石鹼、アルコール、アミン類、農薬や染料、フェノール類等です。試料にヘキサンを加え、抽出される不揮発性物質の総量を指します。

水素イオン濃度 : pH

水が酸性かアルカリ性を示す指標です。pH 7が中性であり、7より上がアルカリ性で7より下が酸性である。

水物語No3 日本一大きな琵琶湖は日本最大の貯水量を誇っています！

琵琶湖は滋賀県の中央に位置し、県域の約6分の1を占めています。兵庫県の淡路島が入ってしまう程の大きさです。湖を取り囲む山地からの流れが源流で京阪神の水ガメとしての重大な機能を担っています。水の透明度は、北湖が4~6m、南湖が2m前後です。京に近く戦国時代には築城が盛んに行われ、小谷城、佐和田城、彦根城、安土城、膳所城、坂本城、大津城、瀬田城等が存在し歴史の息吹を感じる所です。

日本で2番目に大きな湖は霞ヶ浦です。茨城県東南部に位置し県全体の35%面積を有しています。霞ヶ浦は豊富な漁庫でもあり、上水道や農業用水、工業用水の水源としても使用されています。3番目はサロマ湖でオホーツク海に臨む湖です。4番は猪苗代湖、5番は中海、6番は屈斜路湖、7番は宍道湖、8番は支笏湖、9番は洞爺湖、10番は浜名湖です。

世界最大の湖はカスピ海です。中央アジアと東ヨーロッパの境界にあり塩湖で有名です。日本の国土に匹敵するほどのとてつもない大きな湖です。



汚泥ゼロ・臭気ゼロ
ハイブリッドシステム推進中！
株式会社クリーンテックサービス